



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 301

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

(問) 昭和 21 年(1946)1 月に文部省が発令した省令をまとめている資料はないか。

(答) **詳細検索** ⇒ ☒図書 ☒雑誌 キーワード **文部省 省令** ⇒ 143 件ヒット

件数がやや多いので、発令年の昭和 21 年で絞り込みます。

絞り込み検索 ことばで絞り込む ⇒ キーワード **昭和 21 年** ⇒ 11 件ヒット

『官報 昭和 21 年 1 月～昭和 21 年 2 月』(317/Ka58/1946-1 閉架一般 000021030)

巻頭の月別の官報目録の「省令」の項目を見ると、省庁別に省令の名称と収録ページ、掲載日の情報がまとめられています。文部省の情報から各省令の掲載ページを探してみましょう。

『官報』の他にも資料がないか探してみましょう。省令は法令に関する資料に収録されていることがあります。

図書 ⇒ **分類からさがす** ⇒ **大分類 300:社会科学+中分類をみる** ⇒ **中分類 320:法律で探す**

⇒ **絞り込み検索 ことばで絞り込む** ⇒ キーワード **法令 省令 昭和 21 年** ⇒ 15 件ヒット

検索結果一覧でヒットした昭和 21 年の省令を収録している『昭和年間法令全書 第 20 巻』4 冊の収録内容を順番確認してみます。目次や索引はありませんが、ページの端に「年月日 省令 官庁名 掲載されている省令の番号」が記載されていますので、こちらを目印にすると効率よく探すことができます。

『昭和年間法令全書 第 20 巻ノ 6 昭和二十一年ー6 省令(続)』(320/Sh97/20-6 地下書庫 昭和年間法令全書 060003312)

巻末に昭和 21 年 1 月から 12 月に文部省が発令した省令第 1 号から第 40 号までがまとめて収録されています。

法律、省令、告示、通達などの法令は公布日の『官報』に掲載される決まりがあるため、『官報』は最も手早く法令を調べることができる情報源であり、索引機能を持つ目録があるので探しやすいという利点があります。しかし、発行年月日順に収録されているため、特定の省庁の法令を調べようとすると、収録されている官報をひとつひとつ辿る必要があります。これに対し、『昭和年間法令全書』には探している法令の収録箇所を直接特定できる索引はありませんが、同じ年に公布された法令を種別ごとに分類し、さらに省庁別に分類しているため法令ごとに一括して閲覧できるという利点があります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

ベストセラー、さかのぼってみると…



出版不況^{ふきよう}と言われて久しい昨今ですが、文学賞や本屋大賞の発表時、また年末に年間ベストセラーが発表されると、書店が賑わいを見せます。盛り上げるために、上半期ベストセラーを発表している書店や取次もありますね。

このベストセラー、どこまでさかのぼることができるのでしょうか？ 調査対象によって結果が変わってきますが、今回は図書室所蔵資料^{はんい}の範囲で確認してみましょう。

まず『出版年鑑』を確認すると、現在のような年間ランキングとして掲載^{けいさい}されるようになったのは、昭和 26 年(1951)以降となります。昭和 21 年から 25 年は順位なしで列記され、それ以前にいたってはベストセラー^{こうもく}の項目自体がありません。

昭和 15 年(1940)から昭和 20 年の終戦までは、出版統制が強まり、出版するには内閣情報局の許可が必要な時代でした。紙は国からの割当となり自由に使えなかったため発行部数も制限され、出版社の整理統合も行われました。そのような事情もあり、戦時下での詳細な売上データによるリストアップは難しいのですが、出版史や出版会社の社史、あるいは重版図書の案内などを読み解くことで、特に話題となった本、売れた本の情報から、ベストセラーを探ることができるのではないのでしょうか。

今回は、太平洋戦争が始まった昭和 16 年(1941)から昭和 20 年までに話題となった本の^{しょうかい}中から、図書室に所蔵のあるものをご紹介します。

出版年	タイトル	編著者名	出版者名
昭和 16 年 (1941)	『新書太閤記』	吉川英治	新潮社
	『人生論ノート』	三木清	創元社
	『次郎物語』	下村湖人	小山書店
	『ノロ高地』	草場栄	鱒書房
昭和 17 年 (1942)	『海軍』	岩田豊雄	朝日新聞社
	『姿三四郎』	富田常雄	錦城出版社
	『獄中獄外』	児玉誉士夫	アジア青年社
	『台児荘 続々分隊長の手記』	棟田博	新小説社
	『海戦』	丹羽文雄	中央公論社
昭和 18 年 (1943)	『江田島』	清閑寺健	小学館
	『巴里に死す』	芹沢光治良	中央公論社
	『軍神加藤少将』	棟田博	講談社
昭和 19 年 (1944)	『御盾』	山岡荘八	講談社
	『元師山本五十六』	山岡荘八	講談社
昭和 20 年 (1945)	『陸軍』	火野葦平	朝日新聞社

澤村修治『ベストセラー全史 近代篇』筑摩書房 令和元年(2019) をもとに作成

当時よく読まれていた本を直接手に取って閲覧することが出来ます。ご希望の方はカウンターへお越しください。

【参考文献】

『出版年鑑』(025/Sh99)

『ベストセラー全史 近代篇』(023/Sa95 開架一般 000064749)

『定本ベストセラー昭和史』(023/Sh79 開架一般 000044598)

『資料年表日配時代史』(024/Sh96 開架一般 000042929)

『新刊弘報 第1号—第29号(昭和18年6月～19年4月)』(C024/Sh64/1 地下書庫中公新社 180000967)

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 301

2026年7月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1